

令和6年2月21日

# 十日町市

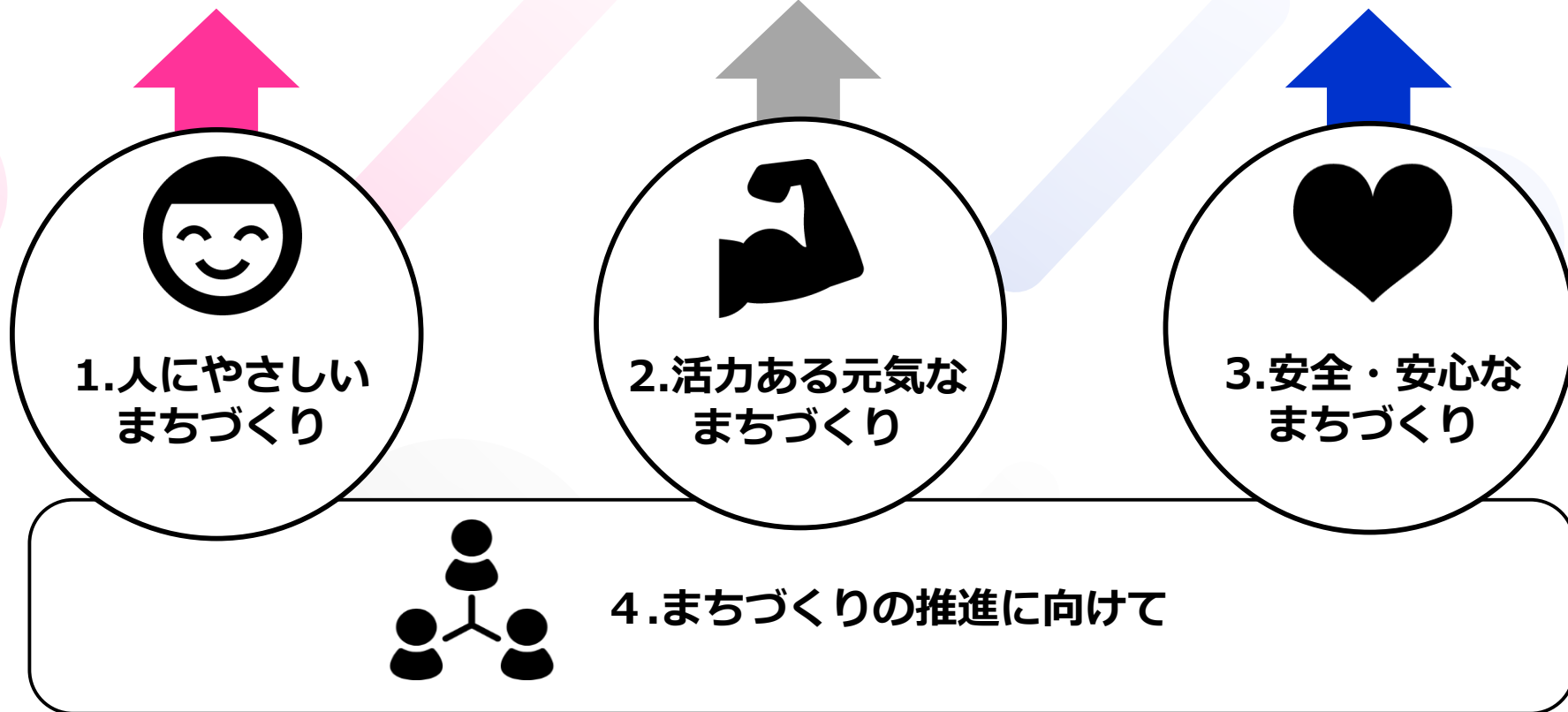
令和6年度 当初予算案



# 目指すまちの姿

第2次十日町市総合計画 後期基本計画 (R3~R7)

## 選ばれて 住み継がれるまち とおかまち



# 令和6年度 一般会計・特別会計予算案

## 一般会計

**348億4,000万円**

前年度対比 +6億3,500万円 (+1.9%)

## 一般会計 及び 特別会計

**487億2,900万円**

前年度対比 +7億7,310万円 (+1.6%)

	前年度対比
国保	47億8,800万円 △ 1,900万円 (△ 0.4%)
診療所	3億4,100万円 + 1億6,750万円 (+ 96.5%)
訪問看護	5,300万円 + 800万円 (+ 17.8%)
後期	8億2,500万円 + 1億700万円 (+ 14.9%)
介護	78億6,200万円 △ 1億2,500万円 (△ 1.6%)
温泉	2,000万円 △ 40万円 (△ 2.0%)
	138億8,900万円 + 1億3,810万円 (+ 1.0%)

# 健全な財政運営に向けて①

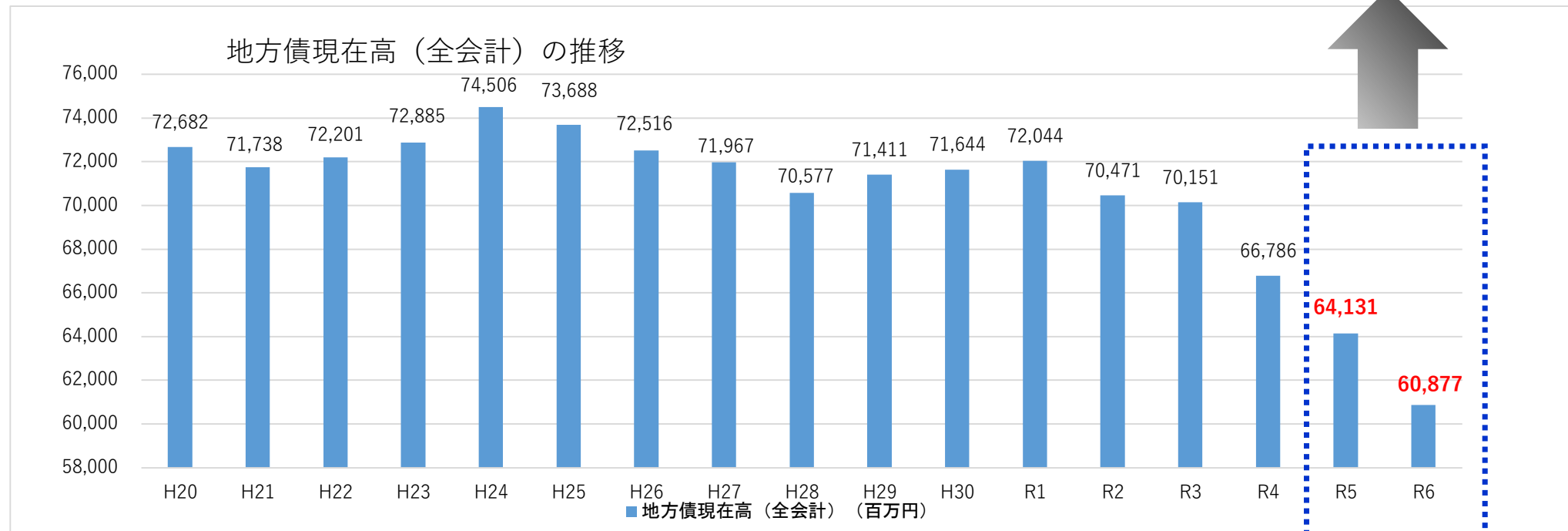
## ●将来負担の抑制

- ・若い世代や子どもたちにとって過度な将来負担とならないよう、市債を適切に発行。
- ・プライマリーバランスの安定的な黒字確保に努め、**地方債残高**を適正に管理。

## ○地方債現在高(全会計)

令和5年度末(見込み) 641億 3,123万円  
令和6年度末(見込み) 608億 7,699万円

前年度対比  $\Delta 32$ 億 5,424万円  $\Delta 5.1\%$



# 健全な財政運営に向けて②

## 1.積極的な自主財源の確保

- ・「とおかまち応援寄附金」の大幅な増額により、地方創生のさらなる充実・強化を図る。

**とおかまち応援寄附金 令和6年度当初予算10億円(対前年度比5億円増)**

## 2.受益者負担等の見直し(別添「補足資料」参照)

- ・物価高騰対策だけでなく、利用者の利便性向上等にも対応するため、一定の負担をお願いする。

**15件 1億5,470万円増**

**(令和6年度改定 ※ 指定管理者収入、公営企業会計収入の増分含む)**

## 3.市債の縮減(別添「令和6年度当初予算の概要」P3の「22款市債」参照)

- ・事業の「選択と集中」により、前年度対比 **3億4,540万円減**(一般会計)
- ・新たな市債発行は、「地方債残高」、「実質公債費比率」を念頭に適切に判断

# 幼児教育・保育の充実

## ● 私立保育園・こども園の支援

(新規) 3,631万円

- ・新たに、保育施設で出る紙オムツをエコクリーンセンターで受入れ
- ・年度途中の入園児を迎えるための保育士や施設の維持管理員、アレルギー対応等の調理員の人件費を補助

## ■ 特別保育の取組を支援

(継続) 1億2,043万円

- ・障がい児や未満児の保育、一時預かりなどの充実に向けて私立保育施設が行う、看護師や保育士の確保などに対して支援
- ・障がい児、未満児保育について、県の補助要件を満たさない場合にも要件を拡充し市単独で支援

## ● 給食副食費の保護者負担を軽減

(継続) 281万円

(物価高騰対応重点支援交付金)

- ・食材費の価格高騰に対する支援



# 子育て支援の充実

## ■ こども家庭センターの設置

(新規) 724万円

- ・ 「母子保健（子育て世代包括支援センター）」と「児童福祉（子ども家庭総合支援拠点）」を統合し、母子保健、児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う新たな機関
- ・ 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、切れ目のない支援の充実と体制強化

## ■ 不妊治療費の助成を拡充

(拡充) 260万円

- ・ 不妊治療を受ける夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図る
- ・ 保険適用となる治療費の自己負担額に対し、1年度につき上限10万円を助成
- ・ 助成回数を「通算5年度まで」を「回数制限を設けない」に改定



# 子育て支援の充実

## ■ 第3子以降の保育料無償化を継続

(継続) 2,190万円

- ・ 多子世帯（18歳以下の児童3人以上）の経済的負担を軽減するため、対象児の保育料無償化（市独自施策）を継続
- ・ 対象児見込94人（1人当たり保育料約23.3万円を無償化）
- ・ 0～2歳児の保育料を総額ベースで国基準から約50%軽減

## ■ 病児・病後児保育の充実

(継続) 2,026万円

- ・ けがや病気の児童とその保護者をサポート
- ・ 実施施設
  - 病児保育施設 「ちくたく（たかき医院）」
  - 病後児保育施設 「十日町幼稚園」
  - 「慈光ぽけっと（慈光こども園）」





# 子育て支援の充実

## ■ 子どもの医療費を助成

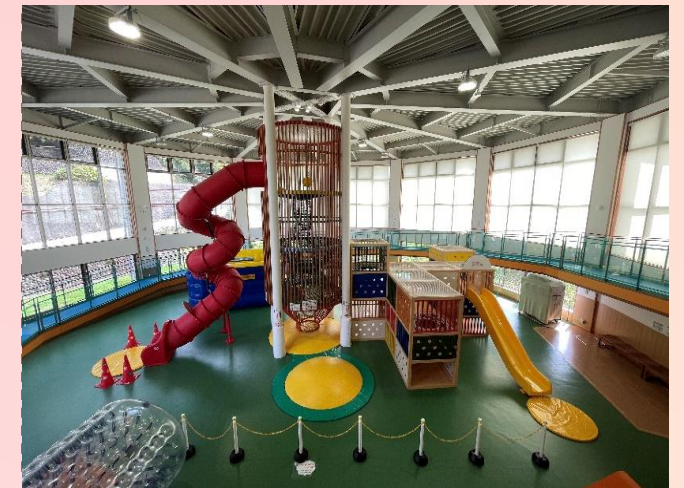
(継続) 1億1,540万円

- ・ 小学校入学前までの子ども：入院・通院とも全額助成
- ・ 小学校から18歳までの子ども：入院は全額助成、通院は一部負担金530円を超えた金額を助成（保険適用分）

## ■ 児童センターめぐらんどの充実

(継続) 2,597万円

- ・ 子どもたちに屋内外で思い切り遊べる広場を提供し、子どもの居場所の確保と育みを支援



# 学校教育の充実

## ● 学校生活や適切な学びの場をサポートする教育支援員の増員

(拡充) 1億1,928万円

- ・障がいのある子どももない子どもも、可能な限り同じ場で教育を受けられる仕組み（インクルーシブ教育システム）を推進
- ・特別支援学級や通常の学級における特別な支援を要する児童生徒の学校生活や個別な学びをサポートする教育支援員を**8人増員**し54人を配置

## ● 通級指導教室の増設

(拡充) 154万円

- ・児童生徒の成長を促す指導を行う通級指導教室（発達）を小中学校3校に新たに設置

【通級指導教室】種別（設置校）

- 言語（十日町小学校、川治小学校）
  - 難聴（十日町小学校）
  - 発達（十日町小学校、千手小学校、**中条小学校、水沢小学校**）
  - （十日町中学校、**南中学校**）
- ※新設



# 学校教育の充実

## ● 居心地のよい学級づくりを支援

(継続) 297万円

- ・ 学力向上と不登校未然防止に向けて、WEBQU（心理アンケート）を小学1年から中学3年生まで実施
- ・ アンケート結果に基づく学級づくり推進のための、教職員研修や学校訪問の充実

## ● デジタルドリル活用事業 (小学校、中学校、特別支援学校)

(新規) 440万円

- ・ GIGAスクール構想の推進によるICT教材の充実
- ・ 1人1台タブレットを活用した「個別最適な学び」の充実と学力向上の支援策として、デジタルドリルを全市立学校に導入
- ・ 授業内での学びと家庭での学びを支援



# 特色ある教育活動の推進

## ■ 大地の芸術祭を活用した教育の推進

(新規) 408万円

- ・大地の芸術祭を契機にした児童生徒の作品制作や鑑賞などの機会創出
- ・活動に係るサポーターの配置と鑑賞用バスの配車

## ■ 学校給食における地産地消・食育を推進

(拡充) 358万円

- ・給食施設や生産者等の連携強化を図るコーディネーターを新たに配置
- ・農業体験や生産者等との交流給食による、子どもたちの食育の推進  
および生産者のやりがいの創出

## ● 学校給食費の保護者負担を軽減

(継続) 876万円

(物価高騰対応重点支援交付金)

- ・食材費の価格高騰に対する支援



鉢 & 田島征三・絵本と木の実の美術館



# 学校教育施設の整備

## ● 学校施設の計画的な整備

(拡充) 7億5,157万円

- ・老朽化した学校施設の改修や特別教室へのエアコン設置などにより、教育環境の安全性・快適性が向上

### 《小学校施設整備事業》

水沢小学校	長寿命化改修(Ⅱ期工事)
中条小学校	通級指導教室エアコン設置
東小学校	消雪用井戸設備改修
西小学校	屋内体育館照明LED化改修
田沢小学校	特別教室エアコン設置
松之山小学校	屋内体育館外壁改修 (ほか)

### 《小学校施設解体事業》

旧東下組小学校の校舎等を解体

### 《中学校施設整備事業》

南中学校	通級指導教室ほかエアコン設置、給水設備改修
吉田中学校	屋内体育館照明LED化改修
水沢中学校	職員室ほかエアコン更新
川西中学校	職員室ほかエアコン更新
松代中学校	高置水槽更新 (ほか)



# 学校規模の適正化の推進

## ● 馬場小学校閉校事業への支援

(新規)

164万円

- ・ 令和7年3月31日をもって閉校する、馬場小学校区の地域団体が実施する閉校事業の経費に対して補助金を交付
- ・ 学校統合により新たに統合先の体操着などの学校指定用品を購入する保護者に対して、経済的負担の軽減のため、その購入費の一部を補助



十日町市立 馬場小学校



令和4年10月23日 馬場小学校創立150周年式典

# 高齢者福祉の充実

## ● 養護老人ホーム妻有荘の改築を支援

(新規) 2,244万円

- ・ 新規事業として、養護老人ホーム妻有荘の老朽化（築50年経過）に伴い、社会福祉法人妻有福祉会が行う改築事業に対し、補助金を交付

事業計画 R6 実施設計

R7~8 新居住棟の建設ほか

R9 旧居住棟の解体

総事業費 12億8千万円（当市支援額7億7千万円）

## ● 介護職員のキャリアアップを支援

(拡充) 150万円

- ・ 介護職員等の定着とキャリアアップを支援するため、対象となる研修の拡大と補助上限額の見直しにより、多くの事業所が幅広く活用できるよう制度を拡充

▶ キャリアアップに資する研修や資格取得に対する支援を拡充



【施設の改築を予定する養護老人ホーム妻有荘】



# 高齢者福祉の充実

【介護保険特別会計】

## ■ 介護予防・生活支援サービスを推進

(継続) 91万円

- ・訪問型サービスC事業（対象：要支援認定者等）  
自宅で理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士が専門的な指導を行い、口腔・運動機能の向上や栄養改善を図るもの  
サービス利用期間：週1回程度で3か月以内  
サービス提供時間：1回60分以内



【介護保険特別会計】

## ● AIでフレイル予防を推進

(新規) 184万円

- ・フレイルAIチェック事業  
一人暮らし高齢者の電力使用量からフレイル状態をAIで把握し  
個別支援につなげ、高齢者のフレイル予防を図るもの





# 地域資源を活用した観光産業の推進

## ● 日本遺産ストーリーの活用と文化観光の推進

(継続) 5,374万円

- ・十日町市緑道内のモニュメント設置及びバリアフリー化（段差等解消）
- ・博物館ロビー展示映像コンテンツの改修
- ・市内事業者の日本遺産ストーリーを活用した商品開発支援
- ・十日町市文化観光推進協議会の取組みに補助



## ● ナカゴ・節黒城跡周辺の再整備の推進

(新規) 500万円

- ・節黒城跡からの眺望の確保及び遺構保護のため立ち木を伐採し、再整備を推進



# 地域資源を活用した観光産業の推進

## ● 広域移動実証事業

(新規) 750万円

- ・ 路線バス、送迎バスの統合による越後湯沢駅⇔清津峡の高頻度化
- ・ 越後湯沢駅⇔清津峡⇔十日町駅の直通化
- ・ 清津峡バス停⇔清津峡までの2次交通の確保



# 大地の芸術祭の里ブランドの活用

## ● 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」を開催します

(拡充) 5億668万円

- ・日本博関連事業として、文化庁と共催にて実施。
- ・25周年を迎え、「アートによる地域活性化」に立ち返った作品を展開
- ・お年寄りや子どもたちへの好影響を付加する展開を目指す
- ・コロナ禍で培った開催スタイルを基に、長期開催にてお客様の満足度を高める旅を提供
- ・インバウンド集客にも注力した受け入れ準備や整備
- ・奴奈川キャンパスの環境整備

### 【大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024概要】

▼会期 7月13日(土)~11月10日(日)

▼主なプロジェクト

- ・越後妻有里山現代美術館 MonET連続企画展
- ・オフィシャルツアー・カスタマイズツアーの充実
- ・アジアフォーラムの越後妻有開催



# 関係人口の拡大・深化

## ● ふるさと納税を活用した十日町ファン の拡充

**(拡充)** 4億9,995万円

- 返礼品の充実やブラッシュアップ、PRを積極的に行い、**寄附金総額10億円**を目標

(参考)

令和4年度寄附金総額 4億199万円  
令和5年度寄附金総額 7億2,319万円 (令和6年1月末現在)



五感全てで“日本”を感じることのできるまち

新潟県 十日町市

Tokamachi City



# 怒涛の人の流れの創出

## ■ 中心市街地の拠点施設を活用した にぎわい創出 (継続) 3,077万円

- ・ 「分じろう」「十じろう」を拠点として、協働のまちづくりや中心市街地の活性化を推進

### 《主な活動内容》

- ▶ 市民が主体となる定期イベントの開催  
「とおか市」(毎月10日)、「こどもパークASOBO」(毎月最終日曜日)
- ▶ 高校生・市民活動団体が主体となるイベントの開催  
「まちなか×GAKUENSAI」、「市民活動見本市めっかめっか」
- ▶ 各種講座や地元愛を育てる出前授業を実施  
「市民活動教室学じろう」、「市内高校への出前授業」
- ▶ イベントPRや市民活動を応援  
「ひとサポ通信」、「十日町市市民活動案内所」



こどもパークASOBOの様子



まちなか×GAKUENSAIの様子

# 農業所得の向上・担い手の育成

## ■ 認定農業者など担い手への支援

(継続) 4,309万円

- ・ 園芸作物の導入、生産拡大に挑戦する農業者を支援 300万円
- ・ 経営規模拡大を行う意欲ある認定農業者、認定新規就農者、生産組織に対して、農業機械の導入を支援 350万円
- ・ 地域の生産体制整備及び燃油使用量、肥料費等を低減することが見込まれる農業機械を導入する農地所有適格法人等に対して、国県補助事業を活用した支援 3,089万円
- ・ 認定新規就農者に対して、就農後の定着を図るため、資金を交付 570万円



# 生産基盤の整備・多面的機能の発揮

## ● 全国田んぼアートサミットを支援

(新規) 200万円

- ・ 2024全国田んぼアートサミットinとおかまちの開催を支援

## ■ 日本型直接支払交付金による支援

(継続) 7億9,078万円

- ・ 中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金を活用した、農業農村の持続活動を支援

①中山間地域等直接支払交付金	4億8,035万円
②多面的機能支払交付金	3億0,596万円
③環境保全型農業直接支払交付金	447万円



# 生産基盤の整備・多面的機能の発揮

## ● つなぐ棚田遺産認定地区を支援

(新規) 50万円

- ・ つなぐ棚田遺産に認定された14地区の活動を支援するほか、つなぐ棚田遺産マップを作成



## ■ 農業基盤の強化 (県営事業負担金)

(継続) 1億789万円

- ・ 山谷稲葉地区、入間地区、芋沢地区など21箇所が生産基盤 (ほ場区画整理、ため池、用水路、農道等) を整備





# 森林の整備・森林資源の活用

## ■ 森林整備の促進 (拡充) 9,890万円

- ・市有林・市行造林の整備（吉田山谷、天水島他 間伐40ha）
- ・森林経営管理制度に基づく私有林の整備（伊達地区他 間伐17ha）

## ● 私有林整備の支援 (新規) 930万円

- ・生産森林組合、集落林、学校林への森林整備費用助成 530万円
- ・危険木・支障木の撤去、処分に係る費用助成 400万円

## ● 木育・市産材活用の促進 (新規) 200万円

- ・市産材で作成した木育製品を乳幼児へ配布 50万円
- ・市産材で作成した木育製品を公共施設に設置 20万円
- ・市産材製品の開発、宣伝等に係る費用へ補助 30万円
- ・民間事業者等の市産材木工品購入費用へ補助 100万円



# 地域雇用の維持・創出

## ■ 企業の人材確保・育成の支援

(継続) 273万円

- ・ 企業が行う採用活動や人材育成研修などの取組みを支援
- ・ 中高生に地域の企業や産業の魅力を伝える「まちの産業発見塾」の開催
- ・ 高校生が職場体験をすることで、地元就職の意識醸成と地域企業のPRを目的とする「高校生職場体験事業」を実施

## ● 企業の消融除雪の取組みへの支援

(新規) 2,000万円

- ・ 従業員駐車場を含めた、敷地内の除雪等を行うための消雪パイプ、散水設備、ロードヒーティングなどの設置費や除雪機械等の購入費に対して支援
- ・ 消融雪設備の導入：補助率1/5、補助上限400万円
- ・ 除雪機械等の導入：補助率1/5、補助上限150万円



# 市内企業の持続的な発展

## ■ プレミアム商品券発行事業の実施

(継続) 3,500万円

(物価高騰対応重点支援交付金)

- ・小売、飲食、サービス業等をはじめとした地域経済の活性化と、物価高騰への市民の安定した消費活動のため、プレミアム商品券発行事業を実施
- ・プレミアム率15%、発行冊数2万冊

## ● エネルギー価格高騰等の影響を受ける事業者を支援

(継続) 2,500万円

(物価高騰対応重点支援交付金)

- ・エネルギー価格高騰等の影響を受ける事業者の長期的な固定費削減を目的に、省エネルギー機器の導入や断熱効果の高いリフォームなどの取組みを支援



# 産業の新しい展開と成長に向けて

## ● 市内民間施設のバリアフリー化を支援

(新規) 250万円

- ・ 事業者の事業活動を支えるとともに、市内における共生社会の実現を目指すため、大勢の来訪者が利用する市内民間施設におけるバリアフリー化工事に対して支援
- ・ 補助率1/2、補助上限50万円

## ■ 新規創業の支援

(継続) 622万円

- ・ 創業相談、創業セミナーの実施及び創業後のフォローアップ。
- ・ ビジネスプラン審査会による事業化の支援



# 市民による学びの場づくりへの支援

## ● 千手中央コミュニティセンター・川治公民館の照明LED化

(拡充) 3,021万円

- ・千手中央コミュニティセンター(ホール、図書室除く)の照明設備のLED化 (照明電気量の86%[4,642Kwh]削減)
- ・川治公民館照明設備のLED化 (照明電力量の68%[8,929kwh]削減)

## ■ 自然環境教育の推進

(継続) 928万円

- ・「キョロロの森」など里山の自然を体験フィールドに、SDGsや探究的な学びにつながる体験型事業を実施
- ・専任研究員による里山体験プログラムの実施
- ・総合的な学習など学校教育と連携した教育的利用の促進
- ・里山の生物や自然環境に関する市民協働調査の実施 など



# 文化芸術活動の充実

## ■ 多彩で親しみやすい公演の開催

(拡充) 700万円

- ・「段十ろう」での多ジャンルにわたるコンサート・公演の開催
  - ▶ **ウィーン少年合唱団公演**
  - ▶ 神田伯山独演会
  - ▶ オレンジレンジツアー2024 など



## ■ 第56回十日町市美術展の開催

(継続) 91万円

- ・期日 令和6年10月
- ・会場 越後妻有文化ホール・中央公民館「段十ろう」
- ・目的 鑑賞機会の充実と芸術・表現活動の奨励
- ・内容 日本画・洋画・版画、彫刻・現代美術・工芸、書道、写真の4部門 (出展点数… 概ね220作品)



# 文化財の保存・活用の推進

## ● 笹山縄文広場整備基本計画の策定

(新規) 500万円

- ・ 国宝出土地である笹山遺跡を文化観光資源として有効活用するため、新たに笹山縄文広場整備基本計画を策定
- ・ 国宝を展示する博物館と、縄文を体感する笹山遺跡の回遊人数を増加させて地域経済を活性化

## ■ 文化財保存活用地域計画の事業実施

(継続) 226万円

- ・ 将来に向けた文化財の保存と継承、活用の具体的な計画を定め、まちづくりや文化観光を推進
- ・ 本計画の周知や市民総がかりで取り組むための意識啓発を目的にシンポジウムを開催



国宝出土地 笹山遺跡復元竪穴住居



重要文化財「星名家住宅」特別公開

# 文化財の保存・活用の推進

## ■ 十日町市博物館開館45周年・国宝指定25周年 記念特別展、企画展の開催

(拡充) 472万円

- ・ 博物館開館45周年・国宝指定25周年記念 秋季特別展「北東北の縄文遺産」(仮)を開催
- ・ 重要文化財を含む北東北地方の土器や土製品を展示
- ・ 国宝指定25周年記念 夏季企画展「国宝すべて見せます、岡本太郎・梅原猛パネル展示」(仮)を開催
- ・ 博物館開館・友の会設立45周年記念 冬季企画展「友の会マイコレクション展」(仮)を開催



国宝「火焰型土器」(指定番号1)



# スポーツの振興

## ● 中学校の休日部活動の地域移行を推進

(拡充) 1,229万円

- ・ 地域移行に取り組む地域クラブ（陸上競技、バスケットボール、ソフトテニス、野球、卓球、アルペンスキー、剣道）の運営を支援
- ・ より良い活動環境の整備に向け、推進委員会や指導者研修会を開催

## ■ スポーツを通じた地域活性化に向けて ミッション型地域おこし協力隊を配置

(継続) 520万円

- ・ スポーツを通じた交流人口の拡大やパラスポーツの普及拡大、部活動地域移行の推進などを専門的に行う人材の配置



# スポーツの振興

## ■ 誰もが楽しめるスポーツの推進

(継続) 115万円

- ・ ボッチャやノルディックウォーキングなど、誰もが親しめるスポーツの推進
- ・ ユニバーサルスポーツの普及・拡大



## ● 体育施設の整備

(新規) 2,610万円

- ・ 川西総合体育館の耐震診断を実施
- ・ 松代総合体育館（アリーナ）照明設備のLED化（照明電力量の70% [32,700kwh]削減）



# 中山間地域対策の強化・充実

## ■ 地域おこし協力隊員の 受け入れによる地域の活性化を支援

(継続) 1億3,110万円

- ・ 地域密着型・ミッション型の地域おこし協力隊員の配置により、集落活動や公的事業者を支援
- ・ 協力隊員の新規募集や隊員のサポート体制を強化
- ・ 地域要望にマッチした外部人材の活用で地域の活性化を支援

【協力隊員委嘱】 令和5年度：22名⇒令和6年度：27名  
(過去最大人数になる見込み)

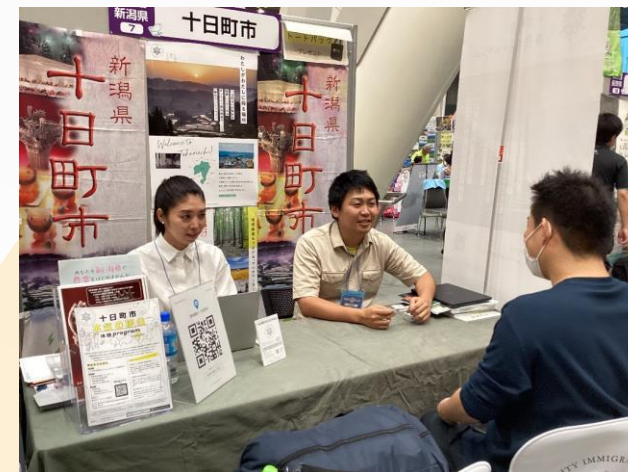
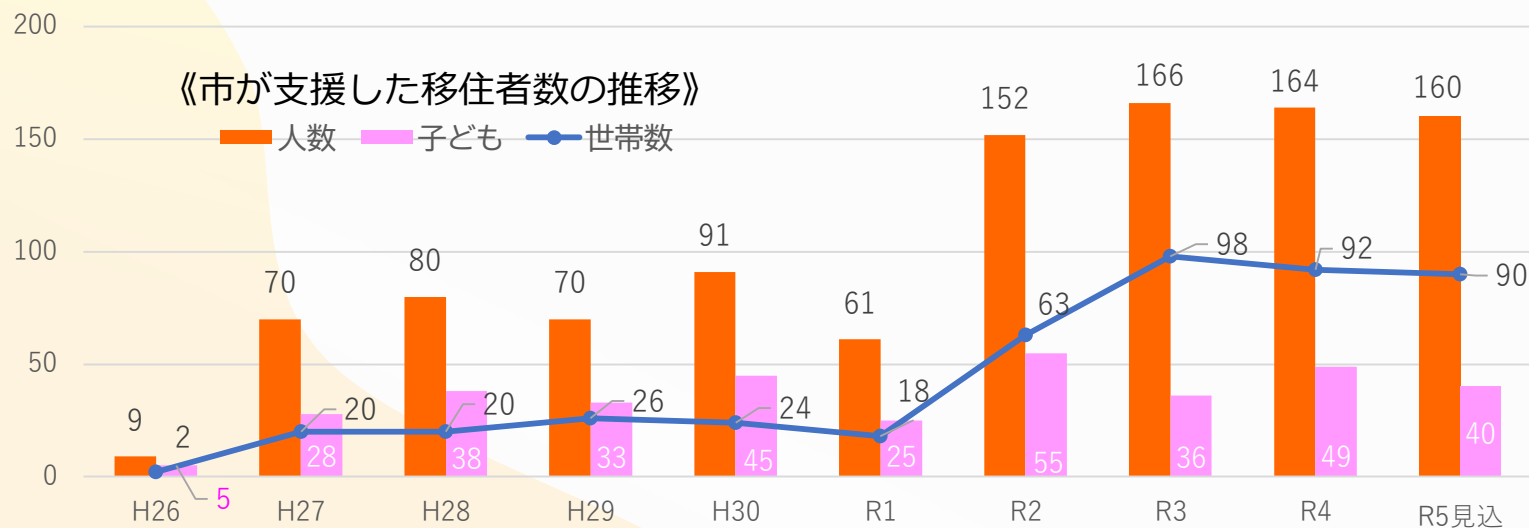
※予算額には他スライドで紹介するミッション型地域おこし協力隊員分を含むもの



# 移住・定住の促進

## ● U I ターン者の増加に向けた取組みの推進 (拡充) 3,284万円

- ・ U I ターンした単身者や世帯に対して、基本助成、テレワーク助成、住宅取得助成など、**最大300万円**を独自に支援
- ・ 市内就職を推進するため、市内企業に正規雇用された移住者(申請者及び配偶者) 1人につき10万円の支援を追加



# 移住・定住の促進

## ● 移住支援金を拡充 (拡充) 928万円

- ・ 東京圏からの移住を後押しする国の「移住支援金」により引き続き支援 (単身60万円・世帯100万円・子ども1人につき100万円)
- ・ 東京圏のキャンパスに在学している大学生が市内企業で就職活動をするための交通費の1/2を新たに支援

## ■ 東京圏に住む子育て世帯のU I ターンを支援 (新規) 500万円

- ・ 国の移住支援金に該当しない東京圏の子育て移住世帯に対して、最大50万円を補助 (県単)

## ● 若者の奨学金返還を支援 (継続) 1,320万円

- ・ 学校を卒業し、市内に住所を定めて就業しながら奨学金を返還する若者に補助金を交付。市内への移住・定住を促進 (R3から58人が定住)
- ・ 奨学金返還額に対し年上限20万円、5年間で最大100万円を補助



# 移住・定住の促進

## ● 移住者の相談窓口をさらに充実

(拡充) 1,200万円

- ・「十日町市移住コンシェルジュ」により、住まいや仕事などの移住相談や暮らし体験ツアーの実施及び大学生インターンシップの受入れを拡充
- ・各地域の協力者（サポーター）や市内企業と連携することで、移住者を受け入れる地域住民の意識を醸成

## ● 女性向け移住モニターツアーを実施

(新規) 200万円

- ・20～49歳の女性の転入を促進するため、女性向けの移住モニターツアーを実施
- ・市内施設の見学、女性の先輩移住者や起業家との交流、女性が働きやすい企業などを体験するバスツアーを計画



# 移住・定住の促進

## ● 空き家の利活用などにミッション型 地域おこし協力隊員を配置

(新規) 520万円

- ・ 空き家の利活用や移住者の増加に向け、ミッション型地域おこし協力隊員を配置し、空き家の掘り起こし及び空き家バンクを充実



# 男女の出会い・交流機会の充実

## ● 男女の出会いの創出を強化

(拡充) 1,134万円

- ・ハピ婚サポートセンター(これまで72組が成婚)の運営や市民サポーターとの連携、県の「ハートマッチにいがた」の入会登録を継続して支援
- ・小千谷市結婚支援センターとの広域連携を継続。また、新たに津南町とも広域連携を行い、さらなる男女の出会いの場を創出する
- ・本年4月より「越後妻有ハピ婚サポートセンター」に改称予定

## ■ 新婚世帯の新生活費用を支援

(継続) 360万円

- ・新婚世帯を支援するため、住宅賃借や引っ越し代、住宅改修等に要する経費に対して、最大30万円(夫婦とも29歳以下は最大60万円)を支援





# 防災対策の充実

## ■ 空き家対策のさらなる推進

(継続) 580万円

- ・ 空家等対策協議会を中心とした官民連携強化により、適切な空き家管理と空き家の有効活用を推進し、生活環境の保全を図る
- ・ 空家特措法・空家条例及び対策計画に基づき、管理不全な空き家の所有者に対して厳格な対応指導の取組みを強化
- ・ 危険な空き家に対し、緊急安全措置等により周辺住民の安全確保
- ・ 特定空家の略式代執行 1件



略式代執行実施予定(特定空家)

### 【緊急安全措置実施状況】

実施年度	件数	種類	費用
令和2年度	4	撤去工事、屋根雪除去	1,333万円
令和3年度	7	除却工事、屋根雪除去	1,893万円
令和4年度	7	修繕工事、屋根雪除去	18万円
令和5年度	3	撤去工事、修繕工事	100万円
合 計			3,344万円

### 【代執行実施状況】

実施年度	物件所在地	費用
平成28年度	松之山	270万円
平成29年度	水沢	172万円
平成29年度	新座	1,040万円
令和3年度	六箇中村	402万円
令和5年度	中仙田	308万円
令和5年度	下平新田	260万円
合 計		2,452万円

# 消防・救急体制の充実

【十日町地域広域事務組合事業】

## ■ 消防車両の更新 (継続) 6,200万円

- ・ 初期消火活動の中枢を担う水槽付きポンプ自動車と各種災害現場へ消防資機材を搬送する資機材搬送車の更新
  - ▶ 災害対応特殊消防ポンプ自動車 5,600万円 (南分署配置)
  - ▶ 資機材搬送車 600万円 (消防本部配置)



# 防犯対策の充実

## ● LED防犯灯の現物支給

**(拡充) 350万円**

(物価高騰対応重点支援交付金)

- ・ 地域が維持管理する蛍光灯型の防犯灯のLED灯への交換や、LED灯の新設への現物支給を通して、交換費用の一部を補助し、犯罪防止に取り組むとともにLED化による電気料金の負担軽減を支援



# 健康づくりの推進

## ● 子宮頸がん検診20歳代無料化

(拡充) 956万円

- ・子宮頸がん検診の無料対象者を「20歳のみ」から「20歳から29歳」までに拡充
- ・加えて、市外の検診機関等でも受診できるよう償還払い制度を創設し、受診費用の負担軽減と受診率向上及び疾病の早期発見、早期治療を図る
- ・事業期間：令和6年度～令和9年度



## ● 带状疱疹予防接種費用の一部助成

(新規) 146万円

- ・50歳以上の市民を対象に予防接種費用の一部を助成し、带状疱疹の発症及び重症化等の予防を図る
- ・助成額：生ワクチン 1回 2,000円上限  
不活化ワクチン 2回 10,000円上限



# 地域医療の充実

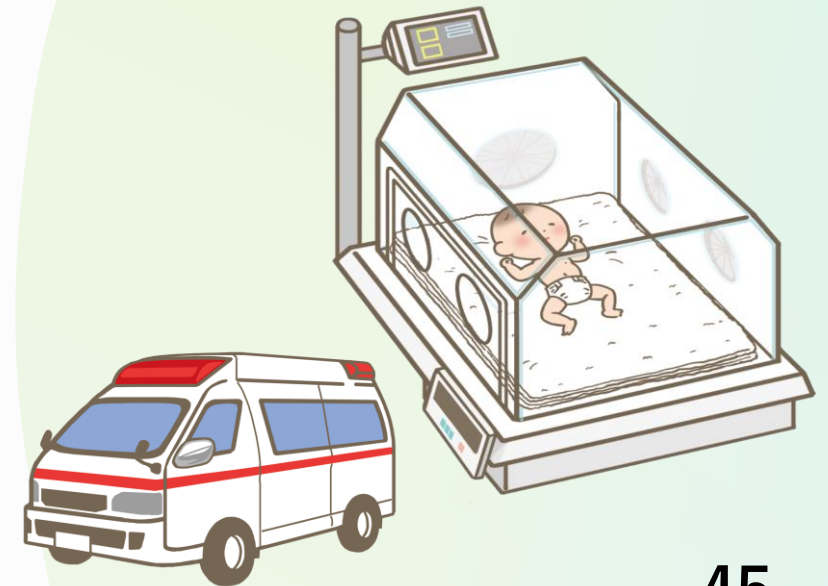
## ■ 周産期医療機関を支援 (継続) 1,200万円

- ・ 分娩に携わる医師を雇用した診療所に対して、市独自の支援金を引き続き支給することで、周産期医療の維持継続を図る
- ・ 1日75,000円を補助(月額上限100万円)



## ● 搬送用保育器の整備を支援 (新規) 150万円

- ・ 救急搬送などで使用する保育器を整備する診療所に対して支援をすることで、周産期医療の安全・安心を確保
- ・ 購入金額の1/2(上限150万円)



# 地域医療の充実

## ■ クリニック開業を支援 (継続) 6,000万円

- ・ 医療提供体制の充実・維持のため、市内で開業する診療所の建設費や設備整備に係る費用等を補助
  - ・ 施設対象経費の1/2 (上限5,000万円)
  - ・ 設備対象経費の1/2 (上限1,000万円)
- ※ 7月頃に、内科・呼吸器内科・小児科を診療するクリニックが開業予定

## ■ 若手医師に研究資金を助成 (継続) 900万円

- ・ 市内の病院に勤務する若手医師に対して、年100万円を貸与 (上限3年間・返還免除規定あり)
- ・ これまで61人の病院勤務医へ助成 (R4年度末現在)
- ・ 病院の医師確保だけでなく、ワクチン接種への協力や医師の市内移住にも貢献



年度	新規貸与人数	貸与額 (継続含)
H30	6人	1,200万円
H31	4人	1,300万円
R2	6人	1,183万円
R3	7人	1,150万円
R4	5人	1,100万円
医師研究資金 過去5年間の実績		

# 地域医療の充実・地域包括ケアシステムの推進

【国保診療所特別会計】

## ● 国保川西診療所を新しく整備

(新規) 1億6,260万円

- ・ 建物の老朽化等に伴い、国保川西診療所を建て替え、コンパクトで効率的な医療提供を図る
- ・ リハビリや各種イベントなど、多目的に活用



【訪問看護事業特別会計】

## ● 訪問看護ステーションおむすびの体制を拡充

(拡充) 5,300万円

- ・ 市民ニーズやリハビリ需要の増加を見込み、看護師等を2名増員
- ・ 延べ利用回数  
R3年度 1,585回 (7月開設)  
R4年度 4,467回  
R5年度 5,500回 (見込)



# 再生可能エネルギーの活用

## ■ 再生可能エネルギー利用設備の導入支援

(継続) 1,090万円

- ・ 太陽光発電・蓄電池・地中熱利用設備や木質バイオマスストーブの設置を対象とした県内トップクラスの補助金交付



市内事業所への太陽光パネル設置

## ■ 水力発電事業の推進

(継続) 200万円

- ・ 河川や農業用水路などの地域資源を活用した、小水力発電の実現に向けた調査研究



小水力発電検討箇所の取水口



# 脱炭素・循環型社会の推進

## ■ 十日町市エコクリーンセンターの 計画的な点検と補修工事

(継続) 1億4,796万円

- ・ 計画的な点検と補修工事の実施により、安定稼働と施設の延命化を推進
  - ▶ 精密機能検査業務委託 (3年に一度)
  - ▶ 煙突補修工事
  - ▶ 1・2号炉耐火物補修工事
  - ▶ 1・2号炉煙道清掃点検整備工事 (ほか)



十日町市エコクリーンセンター



ごみ焼却炉内部 燃焼状況

# 道路網の整備

## ● 安全・安心な「みちづくり」

(継続) 5億7,860万円

- ・ 利便性と安全性の向上を目的に、効率的な道路整備を推進
- ・ 上沼道十日町IC（仮称）へのアクセス道路整備を推進

▶ 整備路線：15路線

道路改良延長 L=659m (11路線)

歩道整備延長 L=231m (4路線)

《主な路線》

**稲荷町線**、本町西線（西田川橋歩道橋）、北新田線

上野西浦1号線、桔梗原下原線

松代大島線、浦田松之山線

**高山水沢線（アクセス道路）**

塚原町～城之古東町地内の物件補償、用地買収

小黑沢地内の用地測量



稲荷町線（橋梁）



本町西線（西田川橋歩道橋）

# 道路網の整備

## ■ 道路施設の点検や修繕の推進

(継続) 2億9,844万円

- ・ 国の国土強靱化基本計画に基づき、老朽化が進む道路施設の点検・修繕を推進し、**予防保全型の維持管理へ転換**

▶ 道路施設点検：橋りょう 71橋

▶ 橋りょう修繕：7橋

工事 大黒沢橋、西田川橋、牧脇橋

設計 清津峡橋、出合橋、中沢橋、桂橋

▶ 大規模舗装修繕：11路線（全12工区）  
浅河原新町新田線ほか



# 上下水道の整備

## ● 清津峡地区の水道整備

(継続) 8,000万円

- 水道未普及地域 (角間、葎沢、小出) の解消

5年度供用開始 6年度供用開始予定

- ▶ 事業期間 令和元年～6年度
- ▶ 総事業費 9.5億円
- ▶ 令和6年度 加圧ポンプ室、配水管整備 L=1,080m

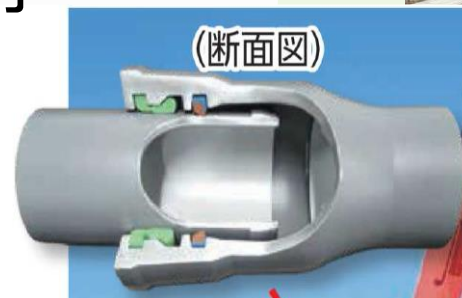


## ■ 基幹管路の耐震化

(継続) 1億8,000万円

- 重要給水施設管路の耐震化。
  - ▶ 事業期間 令和3年～7年度 (8年～12年度)
  - ▶ 総事業費 7.5億円 (7.5億円)
  - ▶ 令和6年度 送・配水管布設替 L=500m

地震に強い耐震管に更新



# 上下水道の整備

## ■ 汚泥濃縮設備の更新

(継続) 2,300万円

- ・ 下水道処理センター汚泥濃縮棟 建屋の耐震化・耐水化工事と設備更新工事を一体的に実施

- ▶ 事業概要 汚泥濃縮棟耐震補強工事  
汚泥濃縮棟耐水化工事  
汚泥濃縮設備更新工事
- ▶ 事業期間 令和3年～9年度
- ▶ 総事業費 8.6億円
- ▶ 令和6年度 汚泥濃縮設備更新実施設計委託 1式  
汚泥濃縮棟耐水化実施設計委託 1式



汚泥濃縮棟の外観



内部機器の状況

# 生活交通の確保・利便性の向上

## ● 市営バス吉田線 (絵本と木の実の美術館行き) の運行を開始 (新規) 1,103万円

- ・ 路線バス鉢線の運行終了 (R6.3月末) に伴い、交通空白地を生じさせないよう、また、地域公共交通の確保を図るため、令和6年4月1日から市営バス吉田線の運行を開始

【運行区間】 絵本と木の実の美術館 ⇔ クロステン十日町

【運行回数】 平日5往復

## ● 運転手確保を支援 (新規) 120万円

- ・ 採用する運転手に就業支度金を支給する交通事業者等に対して補助金を交付

▶ 補助対象額

新たに採用する運転手に支給する支度金の額 (上限30万円/1人)



※ラッピングバスによる運行予定



# 住宅・公園などの整備

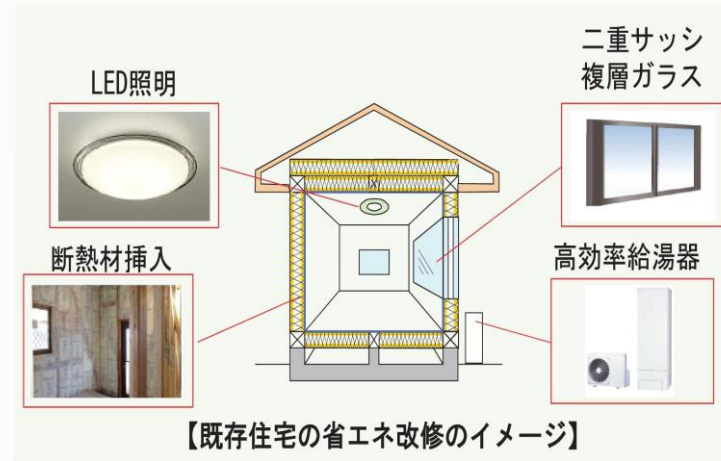
## ■ 省エネルギーフォームによる住環境の向上

(継続) 4,000万円

(物価高騰対応重点支援交付金)

- 住宅の断熱性の向上や省エネ効果の高い照明、空調機器の設置など、省エネルギーフォーム工事に対する補助を実施

- ▶ 補助率 20%
- ▶ 補助上限額 10万円



既存住宅の省エネ改修のイメージ

## ■ 公営住宅の計画的な改修等を実施

(継続) 3,408万円

- 公営住宅等長寿命化計画に基づき、屋根及び外壁等の改修工事を実施

- ▶ 松之山第二住宅B棟(4戸)屋根、外壁等改修工事



<改修事例>

松之山第二住宅 A棟 屋根・外壁等改修工事 (R5年度 実施)

# 住宅・公園などの整備

## ■ 木造住宅の耐震化の推進 (継続) 580万円

- ・昭和56年5月以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の倒壊を未然に防ぐため、耐震化に対する補助を実施
  - ▶ 耐震診断 自己負担額：1万円（耐震診断費用は7～10万円）
  - ▶ 耐震改修 補助率：50%  
補助上限額：100万円

## ■ 都市公園施設を計画的に更新 (継続) 3,220万円

- ・公園長寿命化計画により、老朽化が進んでいる都市公園施設の更新工事を実施
  - ▶ 遊具の更新（四ツ宮公園、春日公園、上原公園、ストレッチ公園）
  - ▶ トイレのバリアフリー化（十日町市総合公園ライオンズの森）



住まいの地震対策



十日町市総合公園ライオンズの森 トイレ



# 計画的な土地利用の推進

## ■ 地籍調査の推進

(継続) 6,100万円

- ・ 松代第3、第4計画区の3か年調査のうち2年目を実施
- ・ 八箇第1、第2計画区の調査完了(4計画区のうち)

## ■ まちづくり計画の推進

(継続) 2,252万円

- ・ 地域特性を活かした持続可能なまちづくり計画の策定を推進
  - ▶ 都市計画マスタープラン改定など
  - ▶ 十日町都市計画道路の見直し (新規)



地域自治組織意見交換会の様子 (松之山地域)

# 市道除雪の充実

## ■ 冬期間の安全・安心な交通確保

(継続) 19億821万円  
(令和5年度国補正を含む)

- ・ 除雪基本料金支払制度による安定した除雪体制の維持
- ・ 除雪管理システムの活用による効率的な除雪業務
- ・ 消雪パイプの計画的な更新
- ・ 流雪溝の整備 (十日町学校町地区、川治地区、川西地域)

市道機械除雪延長 : 約480km  
市道消雪パイプ延長 : 約 86km  
市道流雪溝延長 : 約 54km

## ■ 除雪車の計画的配備

(継続) 1億2,930万円

- ・ 除雪体制の安定化を図るために、ロータリ除雪車2台を更新



消雪パイプ更新



R5 除雪出陣式 (十日町地域)

# 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進

## ■ 雪下ろし時の転落事故を防止

(継続) 725万円

- ・ **ハード対策** 405万円
  - ▶ 住宅屋根への転落防止装置（命綱固定アンカー等）の設置に対する補助（補助率：工事費の50%）  
補助上限額：一般世帯 10万円（要援護世帯 15万円）
- ・ **ソフト対策** 320万円
  - ◀地域安全克雪調査▶
  - ▶ 自律的で安全な地域除排雪体制の実現に向けた調査
  - ◀住宅屋根転落防止対策の普及促進▶
  - ▶ 安全器具（フルハーネス等）の購入に対する補助
  - ▶ 転落防止装置（命綱固定アンカー等）設置済み住宅の雪下ろし作業費に対する補助



# 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進

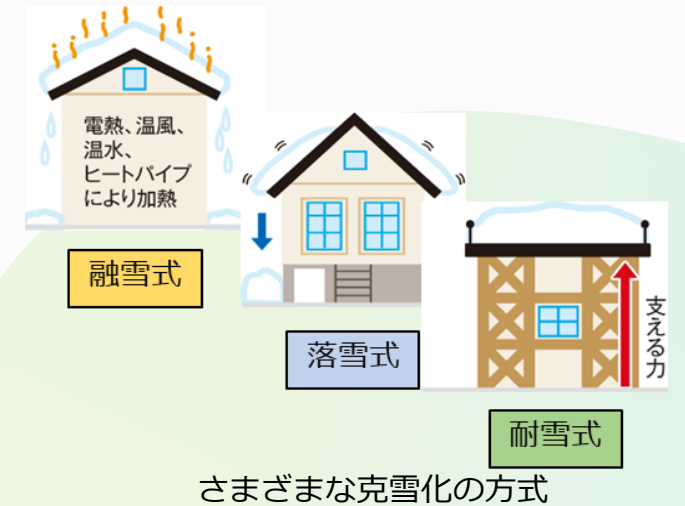
## ■ 住宅の克雪化の推進

(継続) 1,188万円

- ・ 人力による雪下ろしなど住宅の屋根雪処理に伴う過大な負担と危険の軽減、冬期の居住環境の改善を図るため、住宅の克雪化工事に対する補助を実施

### 【補助上限額】

- ▶ 融雪式 : 44万円
  - ▶ 耐雪式、落雪式 : 33万円
- ※ 中心市街地活性化区域内で融雪・耐雪式の場合、最大22万円上乗せ  
※ 要援護世帯の場合、最大11万円上乗せ



# 地域自治の推進

## ■ 地域自治組織の自治活動を支援

(継続) 6,465万円

- ・ 公共を支えるパートナーである市内13自治組織に対し、交付金を交付することで地域活動をサポート
- ・ パワーアップ事業（移住促進型）により、自治組織の人口増加に取り組む活動を支援し、地域ぐるみでの人口対策を強化
- ・ 集落安心づくり事業に取り組む集落のうち、世帯数が少なく、高齢化率が60%以上の集落に対し交付金を加。

## ● 地域支援員による課題解決の促進

(拡充) 2,478万円

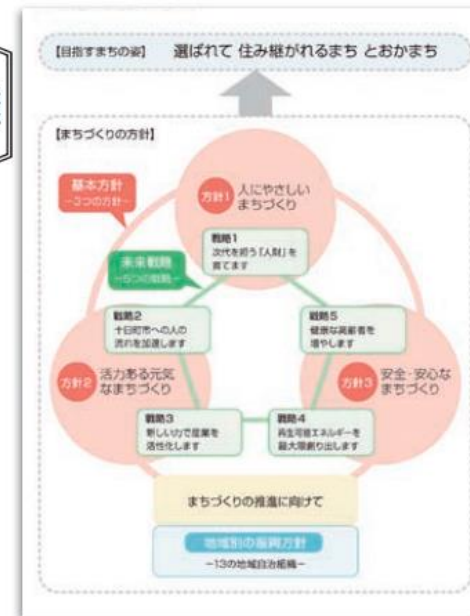
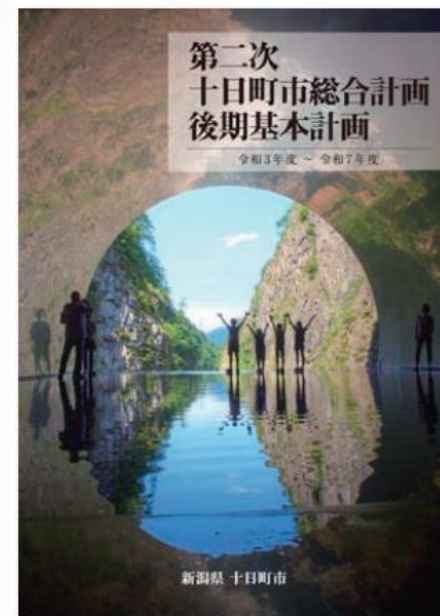
- ・ 地域が直面する特有の課題に対して、関係者間の調整や話し合いを通して、地域住民が自ら考え、解決するための取組みを推進
- ・ 地域と行政をつなぎ、地域コミュニティの継続・発展に向けた対策の企画や事業の実施を支援
- ・ 世帯数減少及び高齢化が著しく進行する集落への対応に特化した支援員の増員



# 効果的な行政運営・広域連携の推進

## ● 第三次十日町市総合計画の策定 (新規) 38万円

- 第二次十日町市総合計画（H28～R7年度）が令和7年度をもって終了することから、次期の第三次十日町市総合計画の基本構想（R8～R17年度）及び前期基本計画（R8～R12年度）の策定に向け作業を着手
- 人口減少対策に焦点を当てた現行のまち・ひと・しごと総合戦略の計画期間を1年延長し、第三次十日町市総合計画と次期総合戦略を一体的に策定



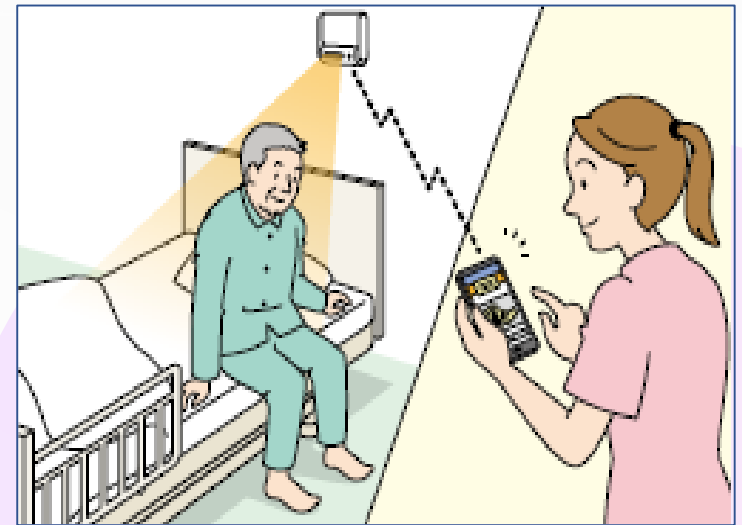
現行の第二次十日町市総合計画後期基本計画

# Society5.0時代に即応した自治体への転換

## ● 介護現場へ介護ロボットの導入支援

(新規) 500万円

- 介護現場の負担軽減を図るため、介護ロボットの中でも導入実績が多い、見守り機器（入離床を知らせるセンサー付ベッドマットレス・通信システム機器等）を導入する法人に対して、経費の一部を補助（1ベッド当たり10万円を上限）



## ■ 国の標準システムへの移行準備

(継続) 7,604万円

- 住民基本台帳などの基幹系業務システムを、国の標準化基準に適合したシステムへ移行（令和8年1月本稼働）
- ガバメントクラウド等の接続準備、データ移行の環境構築

標準化前 各自治体でサーバ等を整備・保守



A市



B町



標準化後 サーバ等の共同利用で整備が不要

A市



B町



ご清聴 ありがとうございます

